

水辺の自然再生共同シンポジウム開催要領

テーマ 「よみがえる魚たちⅢ-里山・里地の自然再生と侵略的外来種の総合的防除」

趣 旨

私たちの身近な水辺で、開発、河川改修、農薬使用、ほ場整備、外来魚や移植魚の侵入などにより、これまで親しんできた魚たちが絶滅の危機に陥っています。私たちは、ブラックバスやブルーギルなどの侵略的外来魚を防除しながら自然再生と取り組み、豊かな自然を守ってきました。しかし、一方ではアメリカザリガニやウシガエルなどの被害が拡大し、各地で希少種が全滅するなど深刻な状況が続いています。これらの被害を軽減し長期にわたり生態系を保全するためには、総合的な取り組みが必要になっています。

これらの取り組みに関する情報を共有するため、希少生物を保全するための積極的な戦略、長期的保全を可能にする地域ぐるみの取り組み、ブラックバスやブルーギルに加えてアメリカザリガニやウシガエルなどを駆除する総合的な防除の必要性と実際的な手法について紹介します。

第1部では、貴重な動植物が集中的に分布生息する里山・里地における自然再生の取り組みと戦略を紹介します。第2部では豊かな自然を守る活動に必要な情報を共有するため、知見の乏しいアメリカザリガニの生態、影響、対策について専門家から紹介していただきます。さらに今回は情報交換の場を増やすため、ポスター発表を企画しています。ここではシンポジウムテーマ5題に加え、自由テーマ10~20題を一般募集し、広範な情報提供と意見交換の場を設定します。

是非、ご参集の上、情報および意見交換に加わっていただければ幸いです

- 1 日 時 2017年10月21日(土) 10:00~17:15
- 2 会 場 東京環境工科専門学校 教室(2階)
〒130-0022 東京都墨田区江東橋3-3-7 (最寄りの駅: JR 錦糸町)
- 3 主 催 水辺の自然再生共同シンポジウム実行委員会 (NPO 法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺
ため池群自然再生協議会、全国ブラックバス防除市民ネットワーク、ナマズのがっこう)
- 4 後 援 (調整中) 大崎市、大崎市教育委員会、JAみどりの、東洋ゴムグループ環境保護基金
- 5 講演 第一部: 10:00~12:00、第二部: 14:00~17:15
- 6 ポスター展示と発表 12:30~14:00
 - (1) テーマ発表 シンポジウムテーマの5題(講演次第参照)
 - (2) 自由発表 一般募集します。

内容: 水辺の自然再生に関する活動および調査研究の取り組みと成果
募集課題数: 10~20題(基本的に先着順)
ポスターの規格: A1版 縦 1枚(A3版4枚)
ポスターの作成方法: 当日、会場で9:00~12:00に実行委員会が用意したA1版パネルに貼り付け、指定した場所へ設置してください。
募集要領: 締め切り 9月24日(日)
題名と発表者を参加申し込み書に記入し、メール送信してください。
講演要旨: 印刷用原稿 A4版1ページ(wordファイル)を10月1日(日)まで事務局へ送ってください。要旨の様式は受付後に配信します。講演要旨集(A4版100ページ)に掲載し会場で配布、シナイモツゴ郷の会HPへ掲載予定です。
発表: 発表者は12:30~14:00にポスター前に立ち、参加者へ随時説明してください。
その他: 旅費は自己負担です。

情報交換会

日時：10月21日（土）18：00～20：00

会場（予定）：会場ビル内の会議室、 会費 3,500 円

申し込み期限：10月10日（日）下記へ申し込んでください。

シンポジウム問い合わせ先 NPO 法人シナイモツゴ郷の会（シンポジウム企画責任団体）

実行委員長：高橋清孝 事務局長：浅野功

事務局、問い合わせ先 MAIL kiyotaka-toto*ktf.biglobe.ne.jp TEL 090-4043-3692

(*印を@に書きかえて送信してください)

シンポジウム会場へのアクセス

会場 東京環境工科専門学校 教室（2階）

住所 〒130-0022 東京都墨田区江東橋3-3-7

アクセス 最寄りの駅：JR 錦糸町

JR 総武線快速・総武線「錦糸町」駅・南口から徒歩3分

東京メトロ半蔵門線「錦糸町」駅・1番出口から徒歩3分



参加申込用紙

参加者氏名			
連絡先	郵便番号 〒		
	住所		
	電話番号		
	Eメール		
所属			
情報交換会の参加 (会費 3,500円)		1. 参加します	2. 参加しない
ポスター 発表	題名		
	発表者氏名(所属)		